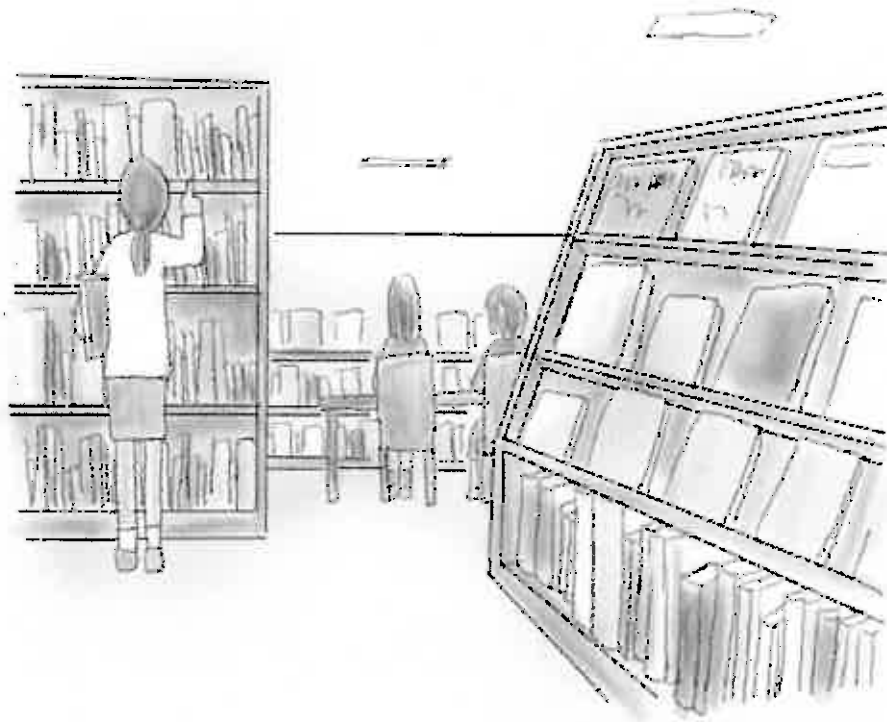


高校生用ブックリスト

さあ、本の世界へ出発！！



岡 谷 市



	分類	書名／著者名／出版社／出版年	内容
No.1	002	ヨコ書き 学問のすすめ 福沢諭吉 福沢諭吉、現代語訳／河本敏浩 ブックマン社 2009	1875(明治9)年に出版された『学問のすすめ』が、現代語訳されヨコ書きで登場しました。100年以上前のメッセージが時を超え、現代の日本人に生きるヒントを与えます。学生のうちに「学ぶ」意味を考える・知るための1冊です。
No.2	007	情報って何だろう 春木良且 岩波書店 2004	「情報化社会」「情報リテラシー」とはということなのだろうか—社会の一員として(情報)を受け取り、加工し、発信しただけではなく、より社会と密接なかたちで情報をとらえるためには何が必要なのだろうか。目にみえない力(情報)と正しくつきあうためのヒント。
No.3	007	ひと目でわかる最新情報モラル ネット社会を賢く生きる実践ステイ 第2版 大橋真也ほか 日経BP社 2011	今や必須ツールとなったケータイ、メール、ウェブにひそむ脅威と弊害。自信をもって積極的にネットや情報を使いこなしていくためには、「ルールを知り、マナーを守り、モラルを高める」ことが不可欠です。第2版では、スマホやタブレット、フェイスブックなどのソーシャルメディア、クラウド、「自炊」行為、災害時のデマなどに関する記述を追加。
No.4	146	いやな気分の整理学 岡野守也 新潮社 1994	感情はコントロールできる！すぐに落ち込む、腹を立てる、不安になるといった性格は生まれつきで直らないものだろうか。「…すべきた」、「どうせ…」といった硬直した思考の「歪み」を正して明るくポジティブな思考に変え、感情を上手にコントロールする方法を指し示す。
No.5	159	高校時代に考えておく50のこと 女子編 有川真由美 PHP 2011	高校時代は学校の勉強だけでなく、自分の人生をどんなふうに進んでいくかという勉強もする大切な時間。夢、友だち、恋愛、進路、家族、お金など、大人の舞台に立つ前の女子が考えておきたい50のことがらを紹介する。
No.6	159	お母さんは命がけてあなたを産みました 16歳のための、いのちの教科書 内田美智子 青春出版社 2011	いただきたいのち、つないでいくいのち、どう生きていきますか？いのちの現場に立ち会う助産師が、若者やその親、親になったばかりの人など、全世代に向けて伝える「いのち」と「性」へのメッセージ。
No.7	159	大人になる前に身につけてほしいこと 坂東眞理子 PHP 2008	友だちづきあいのルール、すてきな大人になる秘訣、自分を守る知恵、学びの習慣…。「女性の品格」の著者が若い人へ、人生の可能性が広がる考え方・振舞い方、そして大人になる前に知っておくべきことを教える。
No.8	159	社会人になる前に知っておくべき12カ条 樋口裕一 PHP 2012	大人の社会はどのようなルールで動いているのか。どのような心構えでそこに加わればよいのか。作文・小論文の指導者であり大学教員である著者が、しっかりとした大人として生きるための12カ条を伝授する。
No.9	159	人生と仕事について知っておいてほしいこと 松下幸之助・述 PHP 2010	松下幸之助は社会人として大切なことは何かと外国人記者に問われて「簡単に言うと、みんなに愛されること」だと答えています。社会人になってからが、本当の自分の道のはじまりです。あらゆる全ての高校生へ贈る一冊です。
No.10	159	君たちはどう生きるか 吉野源三郎 岩波書店 1982 (原著 新潮社 1937)	叔父さんが、中学生の甥・コペル君の疑問に答えていく。友情、喧嘩、いじめ、貧富の差などについて。

	分類	書名／著者名／出版社／出版年	内容
No. 11	209	どうだったのか！現代史 (どうだったのか！シリーズ) 池上彰 集英社 2007	「日々のニュースや、私たちが生きている現代のさまざまな出来事を理解するためには、その少し前の歴史を知る必要があるのです」(「はじめに」より)。第二次世界大戦後の歴史をやさしく解説した「現代史の入門書」。
No. 12	291	カラー版 信州 自然と学びのガイド 増村征夫 岩波書店 2004	縁あって長野県に住む高校生に、地元を知ってもらいたいののでこの本を薦めます。卒業して留まる人、旅立つ人のどちらにも「信州ってこういうところだよ」とよその人に話せる情報を持っていてもらいたいです。
No. 13	333	世界を救う7人の日本人 池上彰編著 日経BP社 2010	アジアやアフリカの国際貢献の現場で活躍する日本人7人の経験を通して、国際貢献とは何か、途上国にとってどんな役割を果たしているのか、日本にとって国際貢献を行うことにどんな意味があるのかを具体的に教える。
No. 14	336	会社の教科書 matsu フォレスト出版 2010	ビジネスマナーから仕事の基本・コツまで、社会人として大切なことをマンガとイラストで楽に学べます。
No. 15	361	社会とどうかわるか 公共哲学からのヒント 山脇直司 岩波書店 2008	他の人や社会のこと、どう考えをらいいのだろう？ その答えは、自分を殺す「滅私奉公」でも、自分のことしか考えない「滅公奉私(めつこうほうし)」でもない。 公共哲学からのヒントは「活私(開公)かつしかいこう」。地元の街から学校、会社や国、そしてグローバルな世界まで、一人ひとりを活かしつつ、公共的な価値が実現する社会の姿を示す。
No. 16	369	特別授業3. 11 君たちはどう生きるか あさのあつこ他 河出書房出版 2012	震災後の日本で、これからどう生きるのか。困難な状況において、一人一人が何をし、どう考えるべきか。国語「表現する力をつけてほしい」あさのあつこ／歴史「きみは世界史の中にいる」池澤夏樹／倫理「支えあうことの意味」鷲田清一／地理「日本とはどんな場所か？ 今後どうなるのか？」鎌田浩毅／政治「いまこそ政治の本当の意味がわかる」橋爪大
No. 17	369	ボランティアの考え方 秦辰也 岩波書店 1999	ボランティアは単なる慈善的なタダ働きや学校の単位取得の手段ではない。個人と社会との生き生きとした接点をつくる実践である。東南アジアでの一五年の経験とそこで出会った人々の活動をもとに、ボランティアの歴史と思想、その組織や制度のためのルールづくりの方法を探り、二一世紀の市民参加はどうあるべきかを考える。
No. 18	369	世界を変えるお金の使い方 山本良一 ダイヤモンド社 2004	100円でミャンマーの子ども5人にポリオワクチン接種。300円でタイとカンボジア国境1m2の地雷を除去。3,000円でイラクの国内避難民キャンプで暮らす家族に越冬用の灯油。10,000円で釧路湿原周辺の森林を625m2買い取り保全。30,000円で100m2の棚田オーナーになり、米づくりに参加。1兆2,000億円で全世界の子どもたちに初等教育を。お金はどのように使えばよいか。
No. 19	371	10代のためのケータイ必携 こころ部 ポプラ社 2010	携帯電話を使うために必要なマナー、チケット、情報を正しく判断し活用する力が身につきます。 マンガで楽しく読むことができます。
No. 20	395	身近な雑草のゆかいな生き方 稲垣栄洋 草思社 2003	踏まれても抜かれてもなお伸びる、その力の源は何か。どんな秘密が隠されているのか。本書では、ハコベやオオハコ、スミレやタンポポなど、身近な50種類の雑草を取り上げて、その生き抜く力、子孫を残そうとするさまざまな知恵と工夫をユーモアあふれる筆致で描く。

	分類	書名／著者名／出版社／出版年	内容
No. 21	402	自分の体で実験したい 命がけの科学者列伝 レスリー・デンディ 紀伊国屋書店 2007	勇気か、科学への愛か？ 時には「死を賭す」危険も顧みず、自分の体で試すことを決意した科学者・医学者たちの涙ぐましい物語を、実験者の心と行動に光を当てて再現する。巻末には「自分の体を使う実験」の詳細な年表付き。
No. 22	421	時間はどこで生まれるのか 橋本淳一郎 集英社 2006	なぜ時間は過去から未来に流れるのか。なぜ過去は定まっているのに、未来は未知なのか。相対性理論や量子論などの物理学を踏まえたうえで、こうした素朴な疑問に答える時間論は、これまで殆どなかった。本書は、科学が明らかにした時間と空間の本質を基本としながらも、人間が日常的に感じる時間の性質を解き明かそうと試みる。目からウロコの画期的な時間論。
No. 23	493	朽ちていった命 —被爆治療83日間の記録 NHK「東海村臨界事故」取材班 新潮社 2006	東海村臨界事故にあった現場作業員の身に、一体どのようなことが起きていたのか、治療にあった医師、看護婦たちの証言、カルテ、看護ノートから、その凄絶な「生」の姿が浮かび上がる。
No. 24	496	裸のサル デズモンド・モリス 角川書店 1999	わたしたちは人類を生物界において至上孤高のものだとみなしている。しかしそこには一つの重大な認識—人間は霊長類の中で、ただ一種の体毛のない「裸のサル」にすぎないという事実—が抜け落ちている。本書は、動物行動学者デズモンド・モリスが、人は「裸のサル」であるという観点から、人間の諸行動を鋭く観察し、奥深く分析していく。
No. 25	498	看護 ベッドサイドの光景 増田れい子 岩波書店 1996	「告知」、ターミナルケア、心の病への癒し、さらに人間ドックや救急医療の現場からみえる社会の断面。人間だれしも病むことに遭遇する。そのとき入院加療はどのようになされるのか。二四時間、患者のもっとも身近にあり激務の日々をおくっているナースたちへの数多くのインタビューから、生死のドラマ、現代の医療のありかたが浮かび上がる。
No. 26	519	ハチドリのひとつとしく —いま、私にできること— 辻信一 光文社 2010	森火事に一滴ずつ水を運ぶハチドリに対して、森から逃げた動物たちは「そんなことして何になるのだ」と笑います。ハチドリは「私は、私にできることをしているだけ」と答えました……。これは、ちいさな力の大切さを教えてくれる南米アンデス地方の古くてあたらしいお話。
No. 27	543	プロメテウスの目1・2 朝日新聞特別報道部 学研パブリッシング 2012	福島原発事故による放射能汚染は、なぜこれほど多くの被害者を生んだのか。政府、官僚、東京電力、そして住民、それぞれに迫った、気鋭の取材記者たちの真実のレポート。史上最悪の放射能汚染はなぜ起こったのか官僚・政治・東電の罪を問う。
No. 28	590	正しいパンツのたたみ方 新しい家庭科勉強法 南野忠晴 岩波書店 2011	家庭科は、自分の暮らしを自分で整える力だけでなく、この社会の中で他者とともに生きていく力を育ててくれる教科だと実感した著者は、自ら専任教員となる。ご飯の作り方、お金のつぎあい方、時間の使い方など自立にあたってどんな知識や技術が必要か、10代の暮らしに沿って具体的にアドバイスする。
No. 29	645	綱い食い 三匹の豚と私 内澤旬子 岩波書店 2012	自分で豚を飼って、つぶして、食べてみたい——。世界各地の屠畜現場を取材してきたイラストルポライターが抱いた、どうしても「肉になる前」が知りたいという欲望。見切り発車で屠屋を借り豚小屋建設、受精から立ち会った中ヨーク、三元豚、デュロック三種の豚を育て、屠畜し、ついに食べる会を開くに至る。一年に及ぶ「研先豚飼い」を通じて現代の大規模養豚、畜産の本質に迫る、前人未踏の体験ルポ。
No. 30	648	いのちの食べかた (よしみちパン！セ) 森達也 イーストプレス 2011	単純な「食育」の本ではありません。私たちの生活を支えるために、世界中のたくさんの「誰か」が必要な仕事をしています。その作業には本来、優劣はないはずですが、またメディアの問題にも触れています。とある出来事からゆるやかに繋がっている世の中について説明されている社会学的な1冊。

	分類	書名／著者名／出版社／出版年	内容
No. 31	726	戦員玉砕せよ! 水木しげる 講談社 1995	昭和20年3月3日、南太平洋・ニューブリテン島のバイエンを死守する、日本軍将兵に残された道は何か、アメリカ軍の上陸を迎えて、500人の運命は玉砕しかないのか。聖ジョージ岬の悲劇を、自らの戦争体験に重ねて活写する。戦争の無意味さ、悲惨さを迫真のタッチで、生々しく訴える感動の長篇コミック。
No. 32	780	スラムダンク勝利学 辻秀一 集英社インターナショナル 2000	超ヒットバスケット漫画『スラムダンク』のなかに必勝の秘密があった。スポーツで勝つ、人生に勝つ。“スポーツも社会生活もただガンバルだけでは意味がない”。気鋭のスポーツ心理ドクターが超人気漫画『スラムダンク』をテキストに講義する“勝つための心理学”。
No. 33	913	竜馬がゆく 1~5 司馬遼太郎 文芸春秋 1974	青春小説の名作。奥手だった幼年期から、剣術修行、脱落、勝海舟との出会いと海軍塾設立までを描く「薩長連合、大政奉還、あれア、ぜんぶ竜馬一人がやったことさ」と、勝海舟はいった。土佐の郷士の次男坊、しかも浪人の身でありながらこの大動乱期に卓抜した仕事をなした。竜馬の劇的な生涯を中心に、同じ時代をひたむきに生きた若者たちを描く長篇小説。
No. 34	913	父の詫び状 向田邦子 文芸春秋 1986	度鳴る父、威張る父、殴る父、そして陰ではやさしい心遣いをする父、宴会帰りの父の赤い顔、母に威張り散らす父の高声、朝の食卓で父が広げた新聞…だれの胸の中にもある父のいる懐かしい家庭の息遣いをユーモアを交じえて見事に描き出し、“真打ち”と絶賛されたエッセイの最高傑作。また、生活人の昭和史としても評価が高い。航空機事故で急逝した著者のエッセイ集。
No. 35	913 6	沈黙 (「レキシントンの幽霊」収録) 村上春樹 文芸春秋 1999	仕事で飛行機を待つ男性2人。その1人・大沢はもの静かで仕事ぶりは誠実、我慢強く、攻撃的からほど遠い印象をしています。彼は中学からボクシングを習っていました。好奇心から「人を殴ったことはありますか」と大沢に尋ねたところ、彼は中学・高校での出来事を静かに語りました。
No. 36	913. 6	四十九日のレシピ 伊吹有喜 ポプラ社 2010	熱田家の母・乙美が亡くなった。氣力を失った父・良平のもとを訪れたのは、理由あって実家に戻ってきた娘。と真っ黒に日焼けした金髪の女の子・井本。乙美の教え子だったという彼女は、生前の母に頼まれて、四十九日までのあいだ家事などを請け負うと言う。家族を包むあたたかな奇跡に、涙があふれる感動の物語。
No. 37	913 6	スコールⅣ 宮下奈都 光文社 2007	自由奔放な妹・七葉に比べて自分は平凡だと思っている女の子・津川麻子。そんな彼女も、中学、高校、大学、就職を通して4つのスコール(学校)と出会い、少女から女性へと変わっていく。そして、彼女が運まきながらやっと気づいた自分のいちばん大切なものは……。ひとりの女性の成長物語。
No. 38	913. 6	下町ロケット 池井戸潤 小学館 2010	大田区の町工場が取得した最先端特許をめぐる、中小企業vs大企業の熱い戦い。かつて研究者としてロケット開発に携わっていた佃航平は、打ち上げ失敗の責任を取って研究者の道を辞し、いまは親の跡を継いで従業員200人の小さな会社、佃製作所を経営していた。下請けいじめ、資金繰り難、法廷闘争……。しかし、会社は小さくても技術は負けない。果たして、下町の夢を乗せたロケットは宇宙を飛ぶのか!?
No. 39	916	ヒロシマ・ナガサキ二重爆撃 山口彌 朝日新聞出版 2009	広島で被爆、命からがら戻った長崎で、二度目の被爆。そして、生きていくために米軍で通訳として働いた……。戦争を生き抜いたひとりの日本人が、90歳から語り始めた生きる力と平和への願い。命の重さを訴える。
No. 40	933	嵐が丘 E・ブロンテ 岩波書店 2004	寒風吹きすさぶヨークシャーにそびえる(嵐が丘)の屋敷。その主人に拾われたヒースクリフは、屋敷の娘キャサリンに焦がれながら、若主人の虐待を耐え忍んできた。そんな彼にもたらされたキャサリンの結婚話。絶望に打ちひしがれて屋敷を去ったヒースクリフは、やがて莫大な富を得、復讐に燃えて戻ってきた…。一世紀半にわたって世界中で読みつがれている傑作小説。イングランド北部・ヨークシャー地方の自然描写も美しい。

	分類	書名／著者名／出版社／出版年	内容
No. 41	933	アルジャーノンに花束を 改訂版 ダニエル・キイス 早川書房 1989	32歳になっても幼児の知能しかないパン屋の店員チャーリー・ゴードン。そんな彼に、夢のような話が舞いこんだ。大学の偉い先生が頭をよくしてくれるというのだ。この申し出にとびついた彼は、白ネズミのアルジャーノンを競争相手に、連日検査を受けることに。やがて手術により、チャーリーは天才に変貌したが…超知能を手に入れた青年の愛と憎しみ、喜びと孤独を通して人間の心の真実に迫り、全世界が涙した現代の聖書(バイブル)。
No. 42	953	悪童日記 アゴタ・クリストフ 早川書房 1991	戦争が激しさを増し、双子の「ぼくら」は、小さな町に住むおばあちゃんのもとへ疎開した。その日から、ぼくらの過酷な日々が始まった。人間の醜さや哀しさ、世の不条理—非情な現実を目にするたびに、ぼくらはそれを克明に事実のみを日記にする。戦争が暗い影を落とすなか、ぼくらはしたたかに生き抜いていく。ハンガリー生まれの女性亡命作家の衝撃の処女作。
No. 43	983	外資 査察官 ゴゴリ 光文社 2006	ある日、鼻が顔から抜け出してひとり歩きを始めた…写実主義的筆致で描かれる奇妙奇天烈なナンセンス譚『鼻』。運命と人に奪められる一人の貧しき下級官吏への限りなき憐憫の情に満ちた『外資』。増殖する妄想と虚言の世界、ゴゴリの代表作3篇。